

第4回ワークショップ結果概要

草花折立下区域

日 時：平成31年1月13日（日） 10時～12時

会 場：折立会館

参加者：21人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - (1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - (2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※				合計	優先順位 結果
	A グループ	B グループ	C グループ	D グループ		
1) るのバス	9	11	11	11	42	1位
2) 草花団地まで通る小型 車両	9	5	11	12	37	2位
3) タクシー代の補助	4	7	3	1	15	3位
4) タクシーの相乗り （目的地が同じ人で同乗）	0	0	2	0	2	-
5) 自家用車の相乗り （目的地が同じ人で同乗）	0	0	1	0	1	-
6) 西東京バスの路線延伸	3	2	0	0	5	-
7) 花之岡バス停から出る バス	3	2	0	3	8	-
8) 住民主体の交通手段	0	0	1	1	2	-
9) 共用の自転車	0	0	0	0	0	-
10) 企業が提供する、スー パー等への送迎バス	1	1	0	1	3	-

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、1位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) るのバス	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の平等感（ほかの地区にも入っているのです）。 ・都道もバスが走るといことで整備した経緯があるので。 ・行き先が分かりやすい。 ・既存のるのバスのルートを変えればよいので、新たに入れるよりは時間がかからない、対応しやすいのではないかと。 ・すぐ近くまで来ているので、ルートを変えて来てくれればありがたい。 ・現実的。 ・市全体のるのバスの台数増、土日運行と含めて、この地区への導入を実現して欲しい。 ・気軽に乗れる。 ・運賃が安いので使いやすい。 ・ダイヤが決まっているので、予定を立てやすい。 ・草花団地まで宅急便の車両が入っているのです、るのバスも行けるのではないかと。
2) 草花団地まで通る小型車両	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・1) るのバスと同じ。 ・デイスサービスの車両が入っているのですできるのでは。 ・草花団地まで来てくれるのがうれしい。 ・るのバスが入れない以上、何らかの対応が必要。 ・草花団地に小型車両が乗り入れることで、るのバスの補完にもなる。 ・道幅が狭いので、小型車にした方が効率がよい。経費も削減できるのではないかと。 ・現実的。 ・坂の上り下りが大変なので。
3) タクシー代の補助	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が確保できれば、現実的なのではないかと。 ・乗り換えなどが大変なので、目的地まで直接行ってくれるタクシーを補助してくれるのはうれしい。 ・高齢者への配慮を考えると、るのバス等だけではニーズを満たせないのです。

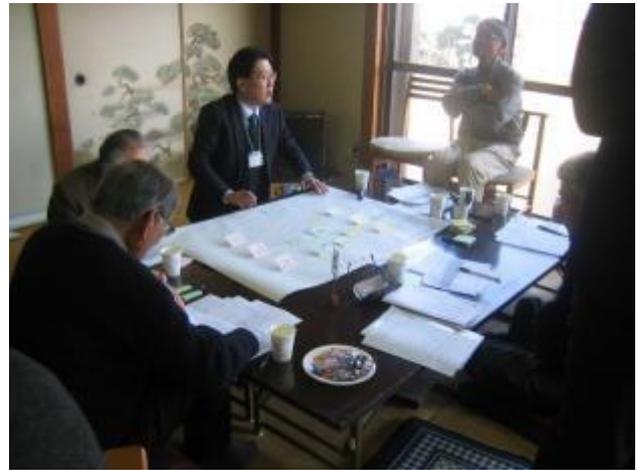
【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

1) 車のバス	積極的に利用	ニーズ調査への協力	敷地の提供	安全活動	宣伝	自家用車利用制限の呼びかけ
2) 草花団地まで通る小型車両					署名活動	
3) タクシー代の補助						利用頻度を減らして経費削減 委員会への出席

※そのほか

- ・市全体で使いやすいネットワーク

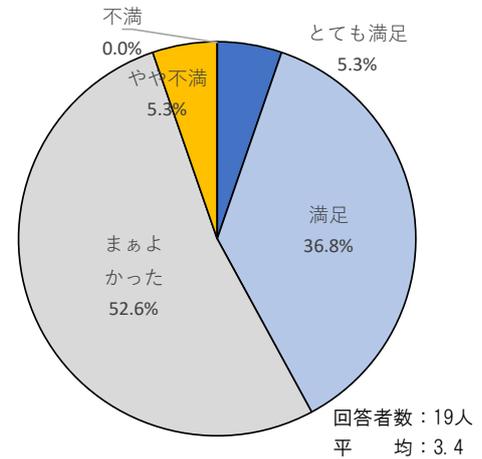
■ 第4回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・るのバスの小型化は大変なのではないでしょうか。小型化されると団地内に入れると思う。
- ・積極的に利用することに心掛けるように協力します。
- ・急坂下がこれほど考えて話し合うことは感謝です。
- ・まとめとして、出席して良かったと思いました。
- ・もう少し参加者の意見を積極的に聞き出して欲しい。
- ・自己中心
- ・市の方から市長になったつもりで意見を出してくださいと言われたことは良かったと思います。
- ・非常に難しいテーマである事を認識しました。
- ・交通政策のむずかしいことは理解した。
- ・るのバス導入を住民がいかに希望しているか、の再確認ができました。
- ・住民主体になって取り入れていかないと先が続かないと思った。町内会も同じです。声をかけあって、困っていることに協力しあいながら進めなければならない。
- ・すばらしいワークショップでした。いろいろ考えさせられる時でした。先が短いのでなるべく早く実現してほしいです。ありがとうございました。
- ・自分自身どんな協力ができるのか、なかなか浮かばないのがくやしい。
- ・いろいろな対応策へのアイデアがあること。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・話し合いは大変だと思いました。
- ・①～③回返は同じ様な意見の交換であった様に思うが、4回に関しては良かったと思う。
- ・市役所の方々がお休みの時間を交通機関と・・・これからも進めていただきたい。
- ・他の市の状況（例：羽村市の”はむらん”）の運行も参考に検討して欲しい。
- ・良くがまん強く指導してくれました！
- ・このワークショップの成果を期待したい。
- ・時間が足りないのでは。この問題に対してはもう少し議論の時間をとる必要があるのではないかと思います。
- ・市の意のあるところは理解した。予算の問題、関係機関への接触など大変な面も多いが市民（納税者）の福祉面の向上で優秀な市の行政都市になることを希望します。
- ・会長が以前述べられたように、貴重な時間と経費をかけているので、是非のバスの導入を切に希望します。
- ・交通対策ベスト3以外のバス停の移動はお金もかからず当面の利便性に寄与します。4番目ですが、頭に入れておいて下さい。
- ・利用意欲の確認、意識の高さの具合などを重要視することなんだと分かりました。意見を出すこと、利用すること、継続すること、トータルに考えなければいけない。これからの高齢化に対応することに必要だと思います。
- ・最後の吉岡さんのお話を聞いて、むずかしい問題が沢山あるのだと考えさせられました。大変なことですがよろしくお願いします。
- ・市としてどんな方策を出されるのか注視したい。
- ・①最大のポイントは今日のWSの内容により「実現」させる意思、施策があるかどうかです。「意見を聞きおく」ことで終わらせないで！！②事前に国、警察、事業者との関係を示したうえで議論すべきだった。（何となく「言い訳」を言われた気がします）③「優先」の決め方の基準が不明だ。人数？有力議員の有無？それとも？